

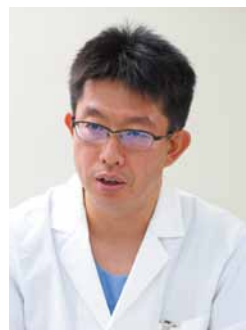


社会福祉法人 聖隷福祉事業団 聖隷横浜病院

海外の医師を招いた、国際PCI研修会。同院に揃う心臓血管センター内科のエキスパートが並ぶ。さまざまな部署が協力し、駅伝に参加。笑顔溢れるチームでタスキを繋ぎ、更なるチーム力の向上に励む。

24時間365日 地域密着型医療を提供

聖隷横浜病院は、高齢者に多い、血管が狭窄・閉塞して生じる虚血性心疾患や末梢動脈疾患などに対するカテーテル治療に実績をあげている。心臓血管センター内科を率いる芦田和博医師は、冠動脈疾患の中でも難症例といわれる慢性完全閉塞病変（CTO）の治療で知られる医師であり、海外からの手術依頼も多いという。慢性的に塞栓した病変は非常に硬くなり、血流の再開通を目指すカテーテル治療には、医師の高度な技術と判断力が求められる。芦田医師はその豊富な治療実績が評価され、日本慢性完全閉塞インターベンション専門家会議にも選出される。



心臓血管センター内科部長 芦田和博
あしだ・かずひろ ●防衛医科大学卒業。
防衛医科大学校病院、自衛隊熊本病院、済生会熊本病院循環器センター、昭和大学横浜市北部病院循環器センター、横浜新都市脳神経外科病院を経て現職。日本循環器学会認定循環器専門医。

ている。

「24時間365日にわたり、ハイレベルな医療を迅速に提供できることが、真の意味で地域に密着した医療である」という信念のもと、同科に揃う8人の心臓血管センター内科医

は、芦田医師と同じ志を共有するエキスパートだ。同科では地域のクリニックや救急隊からのホットラインを医師達が共有し、24時間一貫した診療を提供できる体制を整えている。「医療チーム全員が治療方針・治療技術のベクトルをあわせ、いつでも、どの医師でもハイレベルな医療を提供し、患者さんの安心・満足を追求しています」

3科協力のもと、 包括的な医療を提供

こうした医療レベルを支えているのが、同院に導入された、256列マルチスライスCTや最新鋭の血管撮影装置などの最新機器だ。

医師全員でベクトルの合った、 迅速かつハイレベルな医療の提供を

血管の狭窄部位がより鮮明に描出され、検査や治療の精度向上、より迅速な治療の実現に結びついている。また被曝量や造影剤の使用量を抑えられ、患者の負担軽減にもつながるという。

同院では高度な医療だけではなく、心臓血管センター内科と内分泌・糖尿病内科、腎臓・高血圧内科それぞれの部門が連携を密にし、予防から治療まで包括的かつ全人的な治療を提供している。例えば、糖尿病患者に対しては、

カテーテル治療の後に内分泌・糖尿病内科が積極的に介入し、服薬や食事などを指導、腎機能が低下している場合は腎臓・高血圧内科と連携し、造影剤を使わない二酸化炭素造影を選択するなど、臨機応変に対応している。「3科の風通しが良く、合同で研究会も設立し、地域の医師も盛んに参加しています」

芦田医師は診療だけではなく研究発表などのアウト

プットも重視する。医師や医療スタッフによる学会発表を奨励し、チーム全体の医療レベルに更なる磨きをかけている。「『いい病院』の定義の1つとして、症例数だけではなく、医療の中心を知る医師や医療スタッフが自分の人生をかけて集まってくる病院であるかどうかが重要であると考えています」と芦田医師。「心臓や血管の疾患は聖隷横浜病院に依頼すれば大丈夫」と患者から信頼される医療を、これからもチーム一丸となって追求するという。

取材／滝戸直史

診療科目：内科、呼吸器内科、消化器内科、腎臓内科、内分泌・糖尿病内科、循環器内科、小児科、外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、皮膚科、心臓血管外科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線診断科、ペインクリニック外科、救急科、リハビリテーション科、臨床検査科、病理診断科、形成外科、リウマチ科

診療受付時間：月～金 8:30～11:00/13:00～15:00
土 8:30～11:00

休診日：土午後・日・祝・年末年始

〒240-8521 神奈川県横浜市保土ヶ谷区岩井町 215
TEL.045-715-3111 FAX.045-715-3387
<http://www.seirei.or.jp/yokohama/>

※当院では循環器内科を心臓血管センター内科と称しています